

東陽の旋風^{かぜ} ～自律貢献～

令和6年1月19日（金）No 35 発行
文責：松本 卓也

東陽中の未来を託す ～専門委員長任命式～

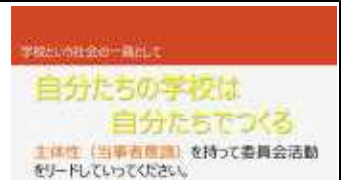
16日（火）、生徒会専門委員長任命式を行いました。旧専門委員長からは、退任の挨拶として、

「自分らしくみんなを引っ張っていくことができました。」
「さまざまな活動を企画して東陽中を盛り上げることができました。」
「先を見通しての行動、みんなをリードする力が身につきました。」
「委員長になるまでは、人前で話すことが苦手でした。この経験を生かして高校でも頑張っていきたいです。」
「もっと活気のある委員会になるよう、これからの活動を頑張ってください。」
「一人で背負わずにみんなと協力して頑張ってください。」



等、1年を振り返り、自分が成長したこと、後輩たちに期待することを述べてくれました。
新専門委員長からは、

「一人一人が明るく学校生活を送っていきけるようにしていきたいです。（新生活環境委員長）」
「たくさんの人に朝のランニングに参加してもらい、健康な生活ができるようにしていきたいです。（新体育委員長）」
「常時活動では見通しをもって1日を過ごすことができるように、トヨナデスでは楽しい時間をお届けできるように頑張りたいです。（新放送委員長）」
「本に興味を持てるように頑張りたいです。たくさん本を読んでください。（新図書委員長）」



等、これからの活動への意気込みを語ってくれました。

生徒会の目的は、学校生活をよりよくするため、学校生活の中での課題を見だし、その解決のために話し合い、合意形成を図り、実践していくことです。学校という社会の一員として、“自分たちの学校は自分たちでつくる”主体性（当事者意識）を持って委員会活動に取り組んでください。

令和6年（2024年）、東陽中の未来は託されました！皆さんの行動に期待しています！！



人 ～知る、知ってもらふ、考える、行動する～

部落差別をはじめあらゆる差別をなくす「熊本県人権子ども集会」が、オンデマンドにより開催されています。11日（木）、全校生徒で視聴しました。県立熊本聾学校の体験・活動報告では、「自分たちから伝えていくことをしなければ、人は社会は変わらない。だから、自分にできることをやるんだ。」との力強いメッセージを学びました。日常生活と重ね、行動を振り返ってください。自分や周りの人を幸せにするために何ができるか？行動につなげていきましょう！



15の春に向けて ～3年面接指導～

16日（火）の荒尾市・玉名市の私立特待・奨学・専願入試を皮切りに、23日（火）は八代市・熊本市の私立特待・奨学・専願入試、2月1日（木）は公立高校前期（特色）選抜と、受験シーズンがスタートしました。本番に向けて、面接指導を実施しました。「その高校を希望した理由は？」「将来の夢のために努力したいことは？」等、本番を想定した質問に対し、緊張しながらも思いを精一杯答えていました。自分をしっかりアピールすることが大切です。応援しています。



※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名（ ）